

## 製品安全データシート

作成日 2002年9月10日(初版)

改訂日 2007年6月27日(第4版)

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ボンジョルノ乳剤  
 会社名 : アリスタ ライフサイエンス株式会社  
 住所 : 東京都中央区明石町8番1号  
 担当部門 : 日本・アジア・ライフサイエンス事業本部 MSDS 担当  
 電話番号 : 03-3547-4673  
 FAX 番号 : 03-3547-4695  
 整理番号 : ALF02-20020-3

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

種類名 : テトラコナゾール乳剤  
 有効成分化学名 : (±)-2-(2,4-ジクロロフェニル)-3-(1*H*-1,2,4-トリアゾール  
 (一般名) -1-イル)プロピル=1,1,2,2,-テトラフルオロエチル=エーテル  
 (テトラコナゾール)

成分及び含有量

成分	テトラコナゾール	界面活性剤、有機溶剤等
含有量	25.0%	75.0%
官報公示整理番号	—	—
CAS 番号	112281-77-3	—

### 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 眼・皮膚を刺激する。

環境影響 : 魚毒性は低い。

物理的及び化学的危険性 : 通常の使用条件では危険性はない。

特定の危険有害性 : 該当なし

分類の名称 (分類基準は日本方式) : 引火性液体

### 4. 応急措置

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した部分を石鹸でよく洗い、多量の水で洗い流す。必要に応じて医師の手当を受ける。

**ボンジョルノ乳剤**  
**アリスタ ライフサイエンス株式会社**

- 眼に入った場合 : まぶたを開いて、多量の水で洗眼し、直ちに眼科医の手当を受ける。
- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努める。必要に応じて医師の手当を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、砂など
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水（飛散を避けるため）
- 火災時の特定危険有害性 : 当該製品は分子中に N、P、S、ハロゲン含有しているため火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（又はガス）を放出する可能性があるため、消火の際には、煙を吸入しないように注意する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて、呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。  
作業の際には保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。  
こぼれた場所はすべりやすいために注意する。  
漏出の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護メガネ、マスク、保護衣などを着用すること。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作地に飛散、流入しないようにする。
- 除去方法 : 少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 取り扱う前には必ずラベルを良く読むこと。取り扱いは、換気のよい場所で行う。  
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。  
保護メガネ、保護手袋などの適切な保護具を着用する。  
取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。

**ボンジョルノ乳剤**  
**アリスタ ライフサイエンス株式会社**

保管 : 食品と区別し、直射日光を避け、通気のよい場所で容器を密閉して冷暗所に保管する。  
火気厳禁。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 作業場の空気を汚染しないように、排気換気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH : 設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具 : マスク

手の保護具 : 不浸透性手袋

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣、長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

外観 : 淡黄色澄明可乳化油状液体 (油状)

pH : 5.5

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

引火点 : 63.2 °C (タグ密閉式)

発火点 : 443 °C

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用条件では安定。

反応性 : 通常の使用条件では反応性はない。

避けるべき条件 : 火気厳禁

危険有害な分解生成物 : 該当なし

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口毒性 (ラット) LD<sub>50</sub> 300 < LD<sub>50</sub> ≤ 2000 mg/kg (♂)

経皮毒性 (ウサギ) LD<sub>50</sub> > 2000 mg/kg (♂, ♀)

局所刺激性 : 皮膚刺激性 (ウサギ) 中等度の刺激性あり

眼刺激性 (ウサギ) 重度の刺激性あり

眼刺激性 (ウサギ、400倍希釈液) 刺激性なし

感作性 : 皮膚感作性 (モルモット) 陰性

**ボンジョルノ乳剤**  
**アリスタ ライフサイエンス株式会社**

**12. 環境影響情報**

## 生態毒性

水生生物	: コイ (96 時間)	LC <sub>50</sub>	6.4mg/L
	: オオミジンコ (48 時間)	EC <sub>50</sub>	10 mg/L
	藻類 (72 時間)	E <sub>0</sub> C <sub>50</sub>	5.2 mg/L
		E <sub>1</sub> C <sub>50</sub>	16 mg/L

**13. 廃棄上の注意**

: “7. 取扱い及び保管上の注意”の項を参照

農薬の空容器、空袋等は、環境に影響のないように適切に処理する。本製品を含む廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。

**14. 輸送上の注意**

国際規制	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
国内規制	: “15. 適用法令”の項を参照の上、規定の積載方法、容器等によって輸送する。

輸送の特定の安全対策及び条件：包装、容器が破損しないように水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

**15. 適用法令**

農薬取締法	: 登録番号 第 20020 号
消防法	: 危険物 第 4 類第 2 石油類
労働安全衛生法	: 施行令第 18 条の 2 通知対象物質 (別表第 9 第 404 号) トリメチルベンゼン (6.1%) 施行令第 18 条の 2 通知対象物質 (別表第 9 第 408 号) ナフタレン (6.1%)

**16. その他の情報**

問合せ先	
会社名	: アリスタ ライフサイエンス株式会社
住所	: 東京都中央区明石町 8 番 1 号
担当部門	: 日本・アジア・ライフサイエンス事業本部 MSDS 担当
電話番号	: 03-3547-4673
FAX 番号	: 03-3547-4695

**ボンジョルノ乳剤**  
**アリスタ ライフサイエンス株式会社**

中毒 110 番 : 財団法人 日本中毒情報センター  
事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る

中毒 110 番	一般市民専用電話 情報提供料無料	医療機関専用電話 (1 件につき 2,000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

引用文献

- 作物保護製品ガイド 2007、アリスタ ライフサイエンス株式会社
- テトラコナゾール製品安全データシート、アリスタ ライフサイエンス株式会社

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取り扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取り扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いいたします。